

ドイツ空軍 フォッケウルフ Fw 190 A-4

Luftwaffe Focke-Wulf Fw 190 A-4

第二次世界大戦後半にヨーロッパで活躍したFw 190は、パワーと頑丈さを併せ持ち、優れた射撃性能を備えた機体だった。非公式にWürger(モズ)の愛称で呼ばれたFw 190は、Bf 109と並んでドイツ空軍の主力戦闘機だった。Fw 190は東部戦線、西ヨーロッパ、国土防衛、北ヨーロッパ、地中海、アフリカで活躍し、この頑丈なドッグファイターはすべてのパイロットに好まれ、その多くはエースとなった。

1938年初頭、ブレーメンのフォッケウルフ航空機工場はRLM(ドイツ航空省)から、メッサーシュミットBf 109と並んで運用されるドイツ空軍の主力戦闘機の開発を依頼された。設計はフォッケウルフ工場の技術部長クルト・タンクの指導のもとに行われ、彼は信頼性と最新の技術を兼ね備え、さまざまな飛行場から運用でき、整備が容易な頑丈な航空機を作ること企画した。

設計当初から、機体の動力や制御方法について、異なるアプローチを採用し、当時一世を風靡していた水冷エンジンではなく、パワフルで信頼性の高いBMW 801星型14気筒空冷エンジンを動力源として選んだ。フラップ、足回り、トリムなどの動力装置は、油圧を使用する当時の他の航空機とは異なり、すべて電気で作動するようになっていた。このため、冷却水や油圧系統の破損の心配がなく、またバランスのとれた操作系はケーブルではなくロッドとベルクランクで連結されており、これが信頼性と生存性をさらに高くしていた。機体は全金属製の低翼カンチレバー(片持ち)型単葉機で、舵面は布で覆われていた。また主脚はオレオダンパーを備えた幅広い設計としたため、さまざまな飛行場での運用が容易だった。

最初の試作機は1939年6月1日に初飛行し、1941年3月に生産が開始された。戦闘機、爆撃機、対地攻撃機、夜間戦闘機、装甲迎撃機、練習機など、さまざまなタイプがあり、生産期間中の4年間で23,823機が生産されたと推定されている。

Fw 190 A-4は、1942年6月から1943年8月にかけて、約975機が生産された戦闘機だ。このバージョンは以前のA-3タイプから派生したもので、主な違いはFuG 16無線機を使用した点だった。このため、尾翼上部にアンテナケーブルを取り付ける小さな「フィン」が追加されている。寒冷地でのエンジン冷却をよりコントロールするため、エンジン排気口後ろの胴体に可変式の冷却スロットが追加されたが、少数の機体では、以前のタイプで使用されていた固定式のオープンスロットが使用されていた。主脚のタイヤ部分はホイールカバーにより、飛行中は完全に覆われていた。

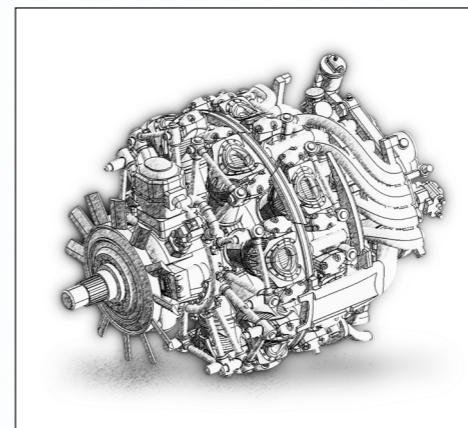
本キットでは、93機の撃墜を記録したジークフリート・シュネル大尉の乗機を再現。シュネル大尉は1940年5月14日、フランス侵攻で初の空中戦勝利を収め、更にバトル・オブ・ブリテンの間に20回目の空中戦勝利を収めたため、鉄十字騎士十字章を授与された。1941年夏、第2戦闘航空団の第9飛行隊長に任命され、45回目の勝利の後、柏葉付き鉄十字騎士勲章を授与された。1943年5月、シュネル大尉は第54戦闘航空団第3飛行隊の指揮官となり、東部戦線に転属したが、第4飛行隊を任された直後の1944年2月にレニングラード近郊で撃墜された。胴体に"Yellow 4"と大きな鷲を描き、ラダーに75機の撃墜マークを描いた1943年2月のシュネル大尉のマーキングをお楽しみください。

●エンジン / Engine

BMW 801 D-2
 ・タイプ: 星型複列14気筒、空冷式、過給式
 BMW 801 D-2
 ・Type: 14 cylinders in two-rows radial layout, air-cooled, supercharged

・排気量: 41.8 ℓ
 ・出力: 1,700馬力
 ・直径: 1,290 mm
 ・長さ: 2,006 mm
 ・重量: 1,012 kg

・Displacement: 41.8 ℓ
 ・Output: 1,700 HP
 ・Diameter: 1,290 mm
 ・Length: 2,006 mm
 ・Weight: 1,012 kg



BMW 801エンジンは、直接燃料噴射システムと、スロットル設定に応じてプロペラピッチ、燃料供給、混合気、点火時期、スーパーチャージャー出力を自動的に調整する機械式アナログコンピューター「集中制御装置(コマンドゲレート)」を備え、パイロット作業を大幅に簡略化した。このエンジンは100オクタン価のC3燃料を必要とした。The BMW 801 engine was equipped with a direct fuel injection system and a mechanical-hydraulic Kommandogerät [Command device] that automatically adjusted the propeller pitch, fuel supply, mixture, ignition timing and supercharger output based on the throttle setting, thus significantly simplifying the pilot's workload. This engine required 100-octane C3 fuel.

●武装 / Armament

・MG 17 機銃 × 2挺
 ・MG 151 機関砲 × 2門
 ・MG FF 機関砲 × 2門
 ・MG 17 Machine Guns × 2
 ・MG 151 Machine Cannons × 2
 ・MG FF Machine Cannons × 2



ラインメタル社製MG 17/7.92mm機銃×2挺を機首に装備。各銃には900発のベルト給弾式弾薬が供給され、合わせて1800発の弾薬が供給された。2挺のMG 17機銃はエンジンの上、パイロットの視線に近い位置に搭載されており、空気圧でチャージされ、電気で発射された。機体翼付け根部にマウザー社製MG 151/20mm機関砲を2門装備。各砲には250発のベルト給弾、合わせて500発の弾薬が供給され、電氣的に充電・発射され、徹甲弾、破砕弾、爆薬、焼夷弾など様々な弾薬を発射することができた。両翼の中央にイカリヤ社製MG FF/20mm機関砲を2門装備。各砲には90発のドラム給弾が供給され、合わせて180発の弾薬が供給され、地雷弾、徹甲弾、破片弾、爆薬、焼夷弾など、さまざまな弾薬を発射することができた。

2 × 7.92 mm Rheinmetall MG 17 machine guns in the nose. Each gun was supplied with 900 belt-fed rounds of ammunition, a combined total of 1800 rounds. The two MG 17 machine guns were mounted above the engine, close to the pilot's line of sight. The MG 17 machine gun was charged pneumatically and fired electrically. 2 × 20 mm Mauser MG 151 cannons in the wing roots. Each gun was supplied with 250 belt-fed rounds of ammunition, a combined total of 500 rounds. The MG 151/20 cannon was charged and fired electrically and could fire a variety of ammunitions, such as armour-piercing, fragmenting, explosive or incendiary. 2 × 20 mm Ikarria MG FF cannon in the middle of each wing. Each gun was supplied with 90 drum-fed rounds of ammunition, a combined total of 180 rounds. The MG FF cannon could fire a variety of ammunitions, such as mine shot, armour-piercing, fragmenting, explosive or incendiary.



SWS No.21 - 1/32 Focke-Wulf Fw 190 A-4

Inhaltsverzeichnis

Contents / 目次

Teil 1	Flugzeugspezifikationen	実機 諸元 / Actual Aircraft Specifications	3.
Teil 2	Baustufenübersicht	組み立てについて / Assembly Information	4.
Teil 3	-1. Motor	エンジン / Engine	7.
	-2. Führerraum	コックピット / Cockpit	17.
	-3. Rumpf	胴体 / Fuselage	24.
	-4. Flügel und Fahrwerk	主翼と主脚 / Wings and Landing Gear	30.
	-5. Abschließende Bauschritte	最終艦装 / Final Outfitting	46.
Teil 4	Farbgebung und Abziehbilder	塗装とデカール / Painting and Decals	53.
Teil 5	Teileübersicht	パーツリスト / Parts List	58.

● Focke-Wulf Fw 190 A-4 実機性能諸元 / Actual Aircraft Dimensions, Performance and Characteristics

・用途: 戦闘機	・Role: Fighter
・乗員: 1名	・Crew: 1
・全長: 8,800mm	・Length: 8,800 mm
・翼長: 10,500mm	・Wingspan: 10,500 mm
・動力: BMW 801 D-2	・Power: BMW 801 D-2
タイプ: 星型複列14気筒、空冷式、過給式	Type: 14 cylinders in two-row radial layout, air-cooled, supercharged
・最高速度/高度: 670km/h(6,250m)	・Maximum speed / altitude: 670 km/h at 6,250 m
・航続距離: 830km (300ℓ 外部燃料タンク使用時 1,500km)	・Range: 830 km "300-litre external fuel tank" 1,500 km
・武装: MG 17 機銃 × 2挺	・Armament: MG 17 Machine Guns × 2
MG 151 機関砲 × 2門	MG 151 Cannons × 2
MG FF 機関砲 × 2門	MG FF Cannons × 2